

第 2 3 回運営委員会の協議状況

日 時 平成 17 年 5 月 23 日 (月) 18:00 ~ 22:00
場 所 ソリオホール(宝塚市) 会議室 1
出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、長峯、岡田、佐々木、中川
村岡、伊藤、岡、酒井、谷田、土谷
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、植田、西村、合田
(事務局) 黒田、前田

内 容 (協議結果)

次の協議結果を次回流域委員会に報告、提案する。

1 ワーキンググループの提案・課題及び項目 B の進め方

武庫川の「現状と課題」について、これまでに委員やワーキンググループから出された課題や問題点等を踏まえて事務局でたたき台となる文書化をおこない、委員会で過不足や修正作業を重ねて仕上げる。

項目 C の検討項目 (前回流域委員会で確認した「一覧表」の検討項目) のうち項目 B に関連 (バッティング) する項目については、「一覧表」の項目 B の検討項目に加え、再整理する。

上記の再整理した表にもとづき、項目 B (治水) に関する審議を開始し、各検討項目を順次、流域委員会で協議していく。

(主な意見)

- ・ ワーキンググループの課題整理も進んできた。資料収集やヒアリングをどうするか。項目 C と B に絡むものの枠組みもほぼ固まりつつある。ワーキンググループで一つ一つ整理していくには時間も要するし、大変な作業である。現状と課題について、事務局で文章 (たたき台) を作り、委員会で手を加えて、課題等を整理していくこととしてはどうか。ヒアリングすべきものも、体系的に見えてくるのではないか。
- ・ 事務局が文書化をはかるのは治水対策でなく、現状と課題について整理する。
- ・ 検討項目一覧表の項目 C のうち、項目 B とクロスするもの及び一覧表の項目 B の枠組みが、治水対策の議論の枠組みにもなる。
- ・ 項目 A (基本高水) の数値が出た後にどう対応するのか、どのような対策 (分担) があるのか等、数値の議論をする前に、総合治水にかかわる個々の対策の可能性について議論をしておくことは、今後の協議を進めるうえで、有効である。

2 治水計画の詳細検討 (流出解析、流出予測) (継続)

次回流域委員会において、流出解析ワーキングチームでの協議状況 (第 6 回及び第 7 回会議の状況) について、報告をする。

(主な意見)

- ・ 基本高水の選択の方向、考え方等、どこかで計画論の議論をしておく必要があるのではないか。
- ・ 基本高水の考え方は、ワーキングチームでやるのではなく、流域委員会で議論するもの。
- ・ 必ずしも、流域委員会で議論をワーキングチームの進捗に合わす必要はないのでは。項目 A を議論しているのだから、流域委員会で項目 A の問題点提起をしてもらってもよいのではないか。

3 その他

(1) 「武庫川の河川整備基本方針・整備計画の審議についての経過報告」の状況(報告)

5月17日の知事への経過報告について、次回流域委員会において、松本委員長から状況報告を行う。

(2) アンケート調査

アンケートの提出先は、事務局とし、提出期限は、8月末とする。

(3) リバーミーティング

6月5日のリバーミーティングについて、机のセット(有無)は、会場の広さ等現地の状況に応じ、事務局で判断する。

次回のリバーミーティングは、7月31日(日)、宝塚市で開催する。